



# みどりの里

宇奈月小学校だより

第11号

令和5年3月20日

目指す子供像 うんとかんがえる子 なかよくする子 つよからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山205番地1  
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>  
E-mail [unazuki-es@tym.ed.jp](mailto:unazuki-es@tym.ed.jp)

## 「心を一つに」～卒業証書授与式～

校長 金三津 ひろみ

3月17日(金)、第17回卒業証書授与式を終え、卒業生34名が宇奈月小学校を巣立っていきました。1年生から5年生までの在校生全学年が揃って式に臨席するのは4年ぶり。1年生はもちろんのこと、2～4年生にとっても、初めて式場で参加する卒業式でした。入場から証書授与、お別れの言葉等、6年生の素晴らしい姿を目の前で見ることができたことは、在校生にとって貴重な経験でした。特に、6年生からバトンを受け継ぎ最高学年となる5年生は、「いよいよ、次は自分たちの番だ」という自覚を高める大切な機会となりました。

卒業式に向けて、6年生は3週間ほど前から少しずつ練習に取り組んできましたが、全校での練習は予行も含めて3回だけでした。わずかな回数ですが、1年生から5年生まで、みんなが緊張感をもって真剣に練習に臨んでいました。それは、卒業式を6年間の総まとめとなる最高の時間にしようとする6年生の気持ちと覚悟の表れた美しい姿が目前にあったからです。その姿から気持ちを受け取った在校生は、「6年生と気持ちを一つにして最高の卒業式に」という思いを高めることができました。

4年前には、「おめでとうございます」とみんなで声を揃えていた在校生からのお別れの言葉も、今回は、5年生の代表が発声するのみです。けれども、だからこそ、「態度や姿勢、拍手、そして校歌の歌声で6年生へのお祝いの気持ちを伝えよう」と指導する教員の言葉に応え、一生懸命に拍手し、歌う在校生の姿を見て、胸が熱くなりました。「行事を通して育つ」という学校だからこそそのよさがあることを改めて強く感じています。

オンラインの設備が整ったことで、各教室からリモートで参加できるようになったことは、もちろん意義のあることですが、同じ空間にいるからこそ感じられる「空気感」のようなものが確かにあります。心を一つに、全学年が揃って、卒業証書授与式を開催できたことを心から嬉しく思っています。

今年度、子供たちが、様々な体験を通して多くの学びを得て、すくすくと成長することができたことは、ひとえに、保護者の皆さま、地域の皆さまの多大なご支援、ご協力のおかげと、心から感謝しております。本当にありがとうございました。新年度も、引き続き、宇奈月の子供たちの健やかな成長のため、お力添えをいただきますようお願いいたします。



## 《学校のアクションプラン結果についてお知らせします》

重点課題	◆ 活用・探究型授業の実施								
具体目標 数値指数	・情報及び情報手段を適切に選択・活用して学習を進める子供の割合80%を目指す。								
取組結果	<p>《授業でタブレット・図書・新聞を使って、学習をすすめることができたとして自己評価した子供の割合》</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1学期</td> <td style="text-align: center;">100% (9学級全て実施)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2学期</td> <td style="text-align: center;">93% (9学級全てで実施)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3学期</td> <td style="text-align: center;">96% (9学級全てで実施)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○国語科、社会科、算数科、理科、体育科、生活科、総合的な学習の時間、学級活動等、多くの教科・領域等で学習用端末を活用し、全学級が年間複数回、問題解決的な学習に取り組むことができた。</p> <p>○学習用端末を活用して、学習したことをまとめ、プロジェクターで映し出し、意見を発表することができた。</p> <p>○ローマ字入力ができない低学年は、写真を撮ったり QR コードを読み取ったりするカメラ機能を頻繁に活用した。</p>	実施率		1学期	100% (9学級全て実施)	2学期	93% (9学級全てで実施)	3学期	96% (9学級全てで実施)
	実施率								
1学期	100% (9学級全て実施)								
2学期	93% (9学級全てで実施)								
3学期	96% (9学級全てで実施)								
最終評価	<p><b>A</b></p> <p>【問題解決的な学習について】</p> <p>○学習用端末を正しく活用するための情報モラルの学習やアプリの使い方の学習等に時間を確保し、丁寧に指導することができた。</p> <p>○学習用端末を活用することで視覚的に分かりやすくなり、子供同士学び合う場面が増えた。(調べ活動、意見交流等)</p> <p>△調べ学習に利用できる HP のQRコードを事前に作成し、読み取れるようにする。</p> <p>△学習用端末の導入から1年が過ぎ、使用頻度が増え、活用の幅も広がっている。個人差・学級差が見られるため、必要に応じてICT支援員やスタディ・メイト等の支援を取り入れる。引き続き、授業研修を積み重ね、指導力を向上させていく。</p> <p>【新聞を活用した学習について】</p> <p>○低学年では、教師が新聞記事を継続的に紹介したことで、世の中の情勢や出来事を身近に感じ、自分事として捉えるきっかけとなった。</p> <p>○高学年では、社会科(政治)や国語科(新聞の構成、文章の構成)で新聞を活用できた。新聞を学習に取り入れたことで、家庭でも新聞を読むきっかけとなった。</p> <p>△どの学年もよく読書はしているが、記録カードに記入していないという実態が見られる。</p>								

重点課題	◆ 自他を尊重した挨拶や言葉遣いの場の設定												
具体目標 数値指数	・宇奈月小学校の温かい言葉「あさがおさいた」(相手を認める場面)を広げる活動に日常的に取り組む。その上で、互いに認め合う言葉かけや行動ができたか自己評価を行い、児童の達成率(自己評価)80%以上を目指す。												
取組結果	<p>《「互いに認め合う言葉かけや行動ができたか」についての自己評価で「よくできた」「まあまあできた」と答えた子供の割合》</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">1学期</th> <th style="text-align: center;">2学期</th> <th style="text-align: center;">3学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">「よくできた」「まあまあできた」と答えた児童の割合</td> <td style="text-align: center;">94%</td> <td style="text-align: center;">92%</td> <td style="text-align: center;">87%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">「よくできた」と答えた児童の割合</td> <td style="text-align: center;">49%</td> <td style="text-align: center;">56%</td> <td style="text-align: center;">38%</td> </tr> </tbody> </table>		1学期	2学期	3学期	「よくできた」「まあまあできた」と答えた児童の割合	94%	92%	87%	「よくできた」と答えた児童の割合	49%	56%	38%
		1学期	2学期	3学期									
	「よくできた」「まあまあできた」と答えた児童の割合	94%	92%	87%									
「よくできた」と答えた児童の割合	49%	56%	38%										

	<p>○1年間を通しておよそ9割の子供たちが、自己評価で肯定的な回答をしている。</p> <p>○どの学級も「あさがおさいたタイム」を帰りの会に設定し、確実に取り組んでいることもあり、自分や友達のをさを認める言葉を言ったり、行動したりすることができたと感じている子供が多い。</p>
<p>最終評価</p> <p><b>A</b></p>	<p>○「互いに認め合う時間を設定する」ことに継続的に取り組み、帰りの会の「あさがおさいた」タイムを中心に、「よいこと、うれしいこと、友達のをさ」等を伝え合ってきた。また、授業でのペア活動やグループ活動、行事の振り返り等、日常生活の様々な場面でも学年の実態に応じて互いのよさを見付けて伝え合う活動に取り組んできた。これらの活動を通して、互いのよさやがんばりを認め合い、伝え合おうという意識が高まり、自己有用感の高まりにつながった。</p> <p>○1、2学期には、ペア学年でミニ集会を行い、3学期には全校集会を開催し、1～6年の縦割りグループで校内オリエンテーリングとクイズに取り組んだ。異学年との交流を楽しみながら活動し、仲を深めることができたと感じた子供たちが多かった。</p> <p>△より多くの子供たちが相手のよさを進んで伝えるために、教師が率先して子供のよさを発表したり、ペアで互いのよさを伝え合ったりする、文章で伝え合ったりするなど、取組の方法に変化や幅をもたせ、抵抗を和らげながらより多くの子供たちが自分の言葉で伝える機会の手立てを工夫していきたい。</p>

重点課題	◆ ゲームやメディア利用の目標設定																																
具体目標 数値指数	・毎週水曜日に、ゲームやメディアとの付き合い方の目当てをもたせ、達成できた子供の割合80%以上を目指す																																
取組結果	<p>○メディアコントロールの目当てをもたせることで、達成できた子供の割合は、目標をほぼ達成できた。7月に「メディアコントロールデーの過ごし方アンケート」を取り、学年毎の「過ごし方ベスト3」を紹介した。教室に掲示して、目当てを書くとき、参考にしてできるようにした。</p> <p>○メディアコントロールカードを1学期分1枚にまとめ、自己評価と保護者の評価をすることが効果的だった。「できた・できなかった」の2段階にしたことで、振り返りがしやすかった。</p> <p>○子供たちのゲームやメディアとの関わり方の実態を把握するために、ゲーム依存度テスト(ゲームズテスト)を実施した。その結果は長時間のゲーム利用が懸念される夏休み前に配布し、家族でゲームの利用について話し合う契機となった。また、11月の学校保健委員会にも生かすことができた。</p> <p>《メディアコントロールの目当てを達成できたと自己評価した子供の割合》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>全校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学期</td> <td>92%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> <td>96%</td> <td>83%</td> <td>87%</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>2学期</td> <td>89%</td> <td>96%</td> <td>98%</td> <td>94%</td> <td>87%</td> <td>90%</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>3学期</td> <td>88%</td> <td>97%</td> <td>100%</td> <td>99%</td> <td>90%</td> <td>97%</td> <td>95%</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	1学期	92%	95%	95%	96%	83%	87%	91%	2学期	89%	96%	98%	94%	87%	90%	92%	3学期	88%	97%	100%	99%	90%	97%	95%
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校																										
1学期	92%	95%	95%	96%	83%	87%	91%																										
2学期	89%	96%	98%	94%	87%	90%	92%																										
3学期	88%	97%	100%	99%	90%	97%	95%																										
最終評価	○学校保健委員会(すこやか集会)では、ゲーム障害に関する講話により、ゲーム依存症にならないように、ゲーム障害を予防しようとする意識が高まった。学校保健委員会の対象は2～6年生であったが、1年生にも保健委員会が作成したビデオを見せ、メディアコントロールへの意識を高めた。																																

A	<p>○すこやか集会の後、各クラスでメディアコントロールデーの日の取組について代表委員会で話し合い、全校で「折り紙」や「お手伝い」に取り組んだ。12月をメディアコントロール強調月間として、全校で取り組んだところ、目当ての達成率が99%になる日もあった。今後は、どうすればメディアとうまく付き合っていくのか、学年に応じてメディア利用について考えさせる時間を設けて取り組んでいく。</p> <p>○ゲーム依存度テストを子供と保護者に実施し、個別に依存度を知らせることができた。また、学校保健委員会では、保健委員がゲーム依存度テストの集計結果を基に発表し、みんなで気を付けようとする意識を高めることができた。</p> <p>○2月にゲーム依存度テストを再度実施し、6月からの変容を把握して、次年度の対策を考えた。</p> <p>△メディアコントロールデー以外の日には、長時間メディアを利用している子供がいる。メディアコントロールの必要性について、発達の段階に合わせて繰り返し指導していく必要がある。</p>
---	--

## 《令和5年度1学期の主な行事予定》

4月	7日(金)	第1学期始業式、着任式(給食なし)
	10日(月)	給食開始、中学校入学式
	11日(火)	入学式(給食なし)
	12日(水)	3~6年学力調査(国・社)、6年全国学力学習状況調査質問紙調査
	13日(木)	3~6年学力調査(算・理)、1・2年交通安全教室
	18日(火)	6年全国学力学習状況調査
	20日(木)	歯科検診
	21日(金)	学習参観、学年・学級懇談会、PTA 総会(全て午前)
5月	10日(水)	4~6年内科検診
	16日(火)	尿検査、5年イワナの放流体験
	17日(水)	1~3年内科検診
	18日(木)	耳鼻科・眼科検診
	19日(金)	5・6年市小学校連合体育大会(予備日:5月23日)
	25日(木)	1~4年遠足
6月	2日(金)	6年鎮ヶ岳歩行会
7月	6日(木)	学習参観・学級懇談会、1年給食試食会
	13日(木)	5・6年宿泊学習(呉羽青少年自然の家)~14日
	21日(金)	1学期給食最終日
	24日(月)	1学期終業式

※全て現在のところの予定です。

### ◎「あんしんメール」登録に関する協力お礼

2月末にお願いした「一斉メールの新配信システム『あんしんメール』」への登録、テストメールの確認等にご協力いただき、ありがとうございました。

皆さまのご協力のおかげで、現在、1~6年生全員のご家族にメールを送信できる準備が整いました。

今後、学校からの様々なお便りについても、メールに添付する形で送付することで、紙媒体での配布を減らしていきたいと考えています。

※ 6年生は、中学校入学後に、明峰中学校のあんしんメールへの登録が必要となります。これについては、入学式後に改めてお知らせがありますので、よろしくお願いします。